

オピニオン opinion

食料自給率は大丈夫？

島崎 美幾子 73 主婦(高知市土居町)

4日「経済ウイークリ」の「にっぽん診断」の見出し「ウクライナ危機と食料安保」が目に入ってきた。地域おこし事務局長、多田朋孔氏の言葉が印象に残った。コロナ禍、ウクライナ危機で、日本の食料安保の危うさ、いかに日本の食料が輸入に頼っているか、その現実を思い知らされた。

連日の食品の値上がりで、やりほりに頭を悩ませている。多田さんの言われているように、自分の食べるものぐらいいは、自分でつくれるようになるべきだと思ふ。

12年前のリーマン・ショックを経験して、世界情勢に左右される生き方の危うさに気づき、農村に移住した多田さん。日本が国家として、いざという時に、国内の生活に必要な物をすべて確保できる仕組み、そのための研究開発や実用化の取り組みこそ、先行投資として税金を使うべきだと言われている。

小麦粉等の穀物類は自給率が低く、大部分を輸入でまかなっている。これでは食料危機を乗り越えることは難しい。日本の農政は危機に対する準備が遅れていると思ふ。

夫は数年前から畑をもらい受けて、サツマイモ、シヤガイモ、枝豆、タマネギ等をつくっている。かなり食費の助けになっている。ある程度の自給自足は必要な時代だと思ふ。

4月からのフレッシュマンへ

小笠原 隆政 67 学習塾経営(高知市棧橋通)

4月8日に終わったNHKの朝のドラマの挿入曲「On the sunny side of the street」の歌詞から、4月から新生活を始めたフレッシュマンに次の言葉を送ります。

「4月は学校でも会社でも新入生や新入社員にとって、きつと不安と期待が入り交じる時です。これからのその日々は楽しい事ばかりではないと思いますが、良き同僚や良き先輩と陽の当たる道を歩むように心がけて努力すれば、その辛い日々はきつと後から思い返せば、良い思い出となっていることでしょう」

「君その世界は決して悪くありません。どうかあなたの歩む道を素晴らしい仲間と励ましながら、陽の当たる道にしてください。そうすればきつといばらの道も乗り越えられます」

大卒の新入社員で3年以内に離職する割合が、3割を超えるようです。高卒に至っては4割だそうです。

人生は長いようで短いものです。どうしても我慢できないなら違う道を歩むのも仕方ないかもしれませんが、できたらその歩んでいる道を陽の当たる道にしてもらいたいものです。

今の苦労はきつと後から、あなたの役に立つと信じます。67歳の私のこれからの道は夕陽の当たる道かもしれないませんが、夏の西日のように元気な夕陽のあたる道にしたいと思っています。

あっぱれ！佐々木・松川バッテリー

竹岡 智巳 61 保険代理業(高知市横浜新町)

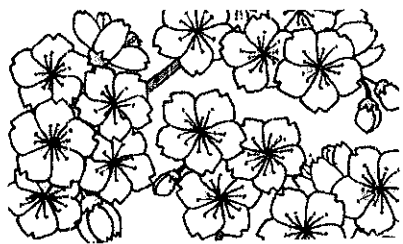
10日、プロ野球オリックスが行われた4月1日からスエーデンの契約をしており、チャンネルでこの試合ライブで見えました。

ロッテの佐々木朗宏がこの日は絶好調で、を超えるストロークを越えるフォークで序盤から三振の山を越えました。そして今後は13者連続三振の新記録を達成していかした。

その後も試合は続回、八回…まだ一人のナーも出していない。ゆる完全試合を継続したのでした。

そして試合はいよいよ九回のオリックスの攻です。1人目は代打、2も代打。この時解説を

声ひろば



山本 明

春本番です。ど、重く悲しい。願い、心むね